



【高温・干ばつ対策について】

6月上中旬は平年比49%の降雨が観測されています。今後も干ばつが予想されますので、以下の対策を実施。

- ・たっぷりとかん水、敷き藁の実施【粒肥大促進、高温乾燥対策】
- ・袋かけ時・傘かけの実施【日焼け高温対策として袋かけと併用し、日当たりの強いところは必ず実施】
- ・急激な新梢管理は注意【急激な新梢管理を実施すると棚面が明るくなり日焼けの原因となるため注意】

【現在発生している病害虫と対策について（重要）】

病害虫名	症状	対策
べと病	葉裏や房の白いカビ	定期防除、病斑の切除
ハダニ類	葉色が薄くなる（特に基の葉から）	ダニ剤散布（スターマイト等）
アブラムシ類	房に小さい虫が付く（房がべたつく）	殺虫剤の散布（アーデント等）

【特別散布】袋かけ未実施園【べと病、黒とう病、晩腐病、スリップス類等】

散布時期	前回から１０日（落花 30 日後）	南部：7/6～ 北部：7/9～（巨峰）			
散布品種	全品種（袋かけ未実施園 又は 冷蔵シャインマスカット袋かけ直前防除）				
散布薬剤	水	100	ℓ	散布日 月 日	
	ライメイフロアブル	（14 日前、3 回）	25		ml
	オンリーワンフロアブル	（前日、3 回）	50		ml
	アーデントフロアブル	（前日、4 回）	50		ml
散布量	400ℓ／10a				
注意点	※冷蔵シャインマスカット園地は、袋かけ前にこの防除を実施して、袋かけをする。				
	※袋かけ実施園地は、袋かけ直後の防除に切り替えても良い。 ① 散布の際は薬剤が房にかかると果粉溶脱するので留意する。 ② ハダニ類発生園は袋かけ直後のスターマイトフロアブル（14 日前、1 回）の散布を前倒してこの防除に加用する。（使用回数 1 回を厳守する。）				

第11回（第7回）【ぶどう定期防除】（べと病、スリップス類・ダニ類防除）

散布時期	前回から１０日（袋かけ直後）	南部・北部：袋かけ終了後			
散布品種	全品種（袋かけ実施園は前回から 10 日後の防除としてこの防除を実施する）				
散布薬剤	水		100	ℓ	散布日 月 日
	ムッシュボルドーDF	—	200	g	
	アルバリン顆粒水溶剤	（前日、3 回）	50	g	
	※1 スターマイトフロアブル	（14 日前、1 回）	50	ml	
	KKステッカー（展着剤）	—	33	ml	
散布量	400ℓ／10a				
注意点	※1 シャインマスカットのみスターマイトフロアブルを加用して散布する。（直前混用） ※ KKステッカーは農薬を希釈した最後に加用する。加用の際はよく攪拌しながら加用する。 ① ベと病発生園は、ムッシュボルドーに代えてゾーベックエニケード 5,000 倍（14 日前、2 回）を散布する。但し、本年 1 度でも散布している場合は使用しない。 ② KKステッカーに代えてアピオンー E 1,000 倍を使用しても良い。（混用順は 1 番最初） ③ クビアカスカシバ発生園はパダン SG 水溶剤 1,500 倍（21 日前、5 回）を加用散布する。 ④ ムッシュボルドーは高温、散布後の降雨で薬害が発生するので注意する。（クワハは不要）				

ご不明な点はぶどう担当までご連絡下さい。